

報告 1

2020年度関東支部事業計画

(2020年4月1日～2021年3月31日)

華やかな平和の祭典、祝祭の年となるこの夏に向け、この数年間の関東地区建設業界ではさまざまな苦難を乗り越えて新年度を迎えるはずであったこの早春以降、思いもよらぬ世界的な感染リスクにより、全く違った社会状況が展開されつつあります。

その状況の中で、以前より謳われていた、さまざまな場面での「改革」「変革」、たとえば工事作業所の週休二日制や感染拡大防止として広がりを見せる遠隔会議や在宅勤務などを含めた働き方改革、第4次産業革命、超スマート社会の実現などと呼ばれる展開が、益々のスピード感を持ち進んでいるように感じられます。

今まさに我々がマネジメントしなければならないもの、それは現在の建築コスト急変動に対するマネジメントだけではなく、たとえば建設キャリアアップシステムやCPDなど技術やスキルの評価軸と共に、建設に携わる我々の「健全に継続されるべき到達点」を目指して、働き方のみならず、職能、職域に至るマネジメントの新たな開発も必要になってきているかもしれません。

そのためにも我々自身の知識と技術を各々が研鑽、スキルと情報力を一層高める努力と交流を重ねることにより、建築コストの専門家集団としての社会的使命を果たす力になるものと考えます。

当協会関東支部としまして、変化する社会に対応できる個々の更なる能力向上を図るべく、次の目標を掲げ、積極的な活動を進めます。

1. 建築積算技術者へのスキルアップ支援

建築積算技術者の初心者から熟練者まで、建築関連知識及び技術を習得できる各種講習会を実施し、会員の皆様または建築関連業務に携わっている方々の手助け、建築積算技術者の育成の支援を引き続き行います。

(1) 建築積算技術者に対する各種講習会、研修会、見学会のさらなる充実

- ① 第46期建築積算学校東京校、開始時期は現在未定の状況ですが開講します。好評であった科目受講も昨年に引き続いて受け入れ、より細かなスキルアップニーズに対応を図ります。(建築積算技術初心者に対する建築積算入門教室については、新型コロナウイルス感染予防対策の一環により中止とさせていただきました。)
- ② 建築積算士更新講習のeラーニングのほか、WEBライブ中継やDVDを活用した講習・勉強会を行い、地方の会員の皆様にも参加し易い機会を増やします。
- ③ PCMシリーズの講習として、建築積算、建築コスト管理、鉄骨コスト管理、改修工事コスト管理に関する講習会を開催します。特に刷新される「建築コスト管理士ガイドブック」や「プロの引き出し(その2)」に関する講習機会の拡充を図ります。
- ④ 各種現場見学会、水曜講座、コストマネジメントに関する意見交換をはじめとした交流会

等、会員皆様のスキルアップに寄与できる機会の、より一層の充実を図ります。

(2) 継続能力開発（CPD）制度の充実

- ① 参加登録申請の促進等、CPD制度の向上に引き続いて取り組みます。
 - ② 各種建築関連団体と積極的に交流を持ち、当会発展の機会拡大に努力します。
- (3) 積算・コスト管理技術の向上推進
- ①時代のニーズに応じた積算・コスト管理技術情報の収集、整理、発信に向けた検討を行います。

2. 会員サービスの向上と、協会会員の増強

個人単位では困難な知識習得機会やコミュニケーション機会の充実を図り、各都県、各世代の会員が利用し易い活動を推進します。

協会認定資格者の持つ高度な技術が広く社会で活用されるよう、社会全般に対する周知活動を続けるとともに、積極的な広報活動、講習会などを通し、認定資格更新の定着化のほか、特に首都圏外や、女性積算士・学生・若年層の協会加入促進を継続して当協会の活性化を図り、積算業務の発展に寄与していきます。

(1) 会員サービスの徹底と加入促進

- ① メールマガジンを通して、イベントなどのタイムリーな活動情報周知により、会員の参加機会増加を図るとともに、開催結果の概要報告として情報発信を行います。
- ② 幅広い建築知識習得のため、現場や工場などの見学会を実施します。
- ③ タイムリーなニーズや会員からのリクエストにより、会員の皆さまに役立つ水曜講座等を計画するとともに、開催に際して参加希望者より事前質問を集め、講習内容と「聞きたい話」のマッチングを図っていきます。
- ④ 首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）以外の地域において地域交流会、地域講習会を開催します。また、これらの地域における会員サービスを向上すべく、各県の行政や建設関係団体に対するコミュニケーション活動並びに、地区委員会の体勢充実を継続します。
- ⑤ 講習内容のDVD記録コンテンツを増やし、地域の講習・勉強会活動への展開を図ることにより、会員サービスの地域格差の低減を図ります。
- ⑥ 本部「積算 ASSAL 委員会」と連動する関東支部内の phase 2 として活動開始すると同時に、若手・中堅積算士や女性積算士のコミュニケーション機会の創出を支援し、問題意識やニーズの反映を検討していきます。
- ⑦ 建築コスト管理士間のコミュニケーションが広く図れるよう、各種イベントを通じた交流の機会を設け、参加者の情報力向上のための人脈形成を支援します。

(2) 資格の活用周知と加入促進

- ① 登録項目化された PUBDIS とともに、経審への登録項目化推進を継続し、行政・公共団体等に対し、建築コスト管理士、建築積算士の資格活用について要請活動を継続します。
- ② 発注者側企業・諸団体を含めた建築関連企業に対し、協会実施の講習会、イベント

等を広報し、協会会員加入促進を図るとともに、建築コスト管理士、建築積算士、建築積算士補の活用向上を働きかけます。特に入札時積算数量書活用方式の運用に伴い必要となる、施工者現場側の積算技術者拡大のための広報展開を継続します。

- ③ Ⅱマガにおける新情報告知や技術情報サイトの更なる充実を図り、個人会員にも役に立つ賛助会員メリットをアピールするとともに、メーカー等に賛助会員加入を働きかけます。
- ④ 建設会社、設計事務所、積算事務所へ、積算書（見積書）に担当の建築積算士または建築コスト管理士氏名・資格番号の記載を行う事について、資格記名の意義を周知するとともに、主務者を明確化するよう推奨推進していきます。

（3） 教育活動の推進

- ① 当協会では、平成 21 年に建築積算士補の資格を創設し、学生の積算教育の推進を図るようテキストの検討、積算士補認定校での試験の実施、資格の付与等を進めていますが、特に 4 年制大学を含め、更なる拡大を目指して活動を展開するとともにそれら認定校の活動展開を広報を通して図ります。
- ② 建築積算士補認定校を対象に、学校教育の充実と人材の育成を目指してインターンシップの普及支援活動を推進します。
- ③ 大学を含め積算教育の依頼が増加傾向である現状に対応するため、若手の技術者に対して、派遣講師研修、教育活動を行います。
また、建築積算士補や一般講習の講師を対象にした、人財バンクを運営し、ベテラン技術者の登録推進を図るとともに、講師交流会を行い、積算・コスト管理技術教育活動の拡大推進を図ります。

以上